

栄養クリニックの開設 8 年目を振り返って

栄養クリニックが開設されて早 8 年を経過しました。これまで、前クリニック長の田中 清教授、現副クリニック長の木戸詔子名誉教授、そしてクリニックスタッフの先生方、食物栄養学科の先生方にご尽力いただき、順調に発展を遂げてまいりました。また、クリニックの設立時からご高配をいただいております芝原理事長様、楠木事務局長様をはじめ学園の皆様方に厚くお礼申し上げます。

さて、今年度の活動報告書をお届けさせていただきます。今年度も、料理教室、地域との連携、大学祭での栄養アセスメント、企業とのコラボレーション、附小スクールランチ、レシピ甲子園コンテスト、東日本大震災の支援、学習会など、多くの活動を実施することができました。そして、それぞれの活動は、年を追うごとに益々充実した内容になっていることを実感できます。

今年度も、食物栄養学科のすべての先生方に指導教員あるいは研究員としてクリニックに参画していただくことができ、学科との有機的な連携を継続しています。さらに、大学院や学部 of 学生とも、講義やゼミ、アセスメント、料理の試作など、多方面を通して関わることもできました。このように質実ともに活動を広げることができているのも、クリニックの先生方はもとより、食物栄養学科の先生方、そして関係する多くの皆様方の継続したご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

本学の栄養クリニックは、教育・研究・地域貢献という三つの使命を有し、大学の内外において食と栄養を中心としたさまざまな分野の活動に取り組んでいます。今後も皆様のご協力とご支援をいただきながら栄養クリニックの活動を充実できれば望外の喜びです。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

平成28年 3 月 1 日

京都女子大学栄養クリニック長
宮 脇 尚 志